

普及活動情勢報告（令和元年 7 月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

ドローン防除等の研修会を開催



ドローンの航空防除の説明

7 月 1 9 日、高知市土佐山柚子生産組合の研修会が実施され、組合員ら 1 5 名が参加しました。普及所は、講師の選定など研修会の開催を支援しました。同組合は、新規事業として本年よりドローンによる薬剤防除などのスマート農業の検証に取り組んでおり、航空防除委託業者からドローン飛行原理や航空防除の現状等の研修を受けました。組合員からは、薬剤の防除効果はどうか、などの質疑応答が出され、高い関心を示していました。また、普及所から短棘系ユズの試験結果を報告しました。

ドローンによる薬剤防除や航空撮影による収量予測調査などを計画し、土佐山地区のユズ栽培に新しい技術の導入を支援していきます。

きゅうり部会反省会で情報提供



普及所から情報提供

7 月 16 日に JA 高知県春野営農経済センターにおいて、「きゅうり部会反省会」が開催され、生産者 4 6 名が参加しました。普及所からは GAP の推進に向け現状やできることから少しずつ始めていくことの大切さについて伝え、生産者の GAP への理解を深めることが出来ました。また、平成 30 年度の試験結果から元肥の低減効果と炭酸ガス施用下での適正かん水量の検討について情報提供し、次年度取り組みについて意見をいただきました。

今後も高知普及所は、きゅうりの産地維持と生産量の増加に向けて積極的に取り組んでいきます。

トマトの環境制御技術の普及へ(勉強会)



普及所から情報提供

6 月 25 日に JA 高知県春野営農経済センターで春野トマト部会の勉強会が開催され、生産者 4 名が参加しました。普及所からは環境制御技術での炭酸ガス施用試験について結果を報告しました。参加者からはガス施用下での栽培環境や管理方法について、更に詳しく知りたいとの要望が出されました。

普及所は今後も産地に適した技術について、実証試験や情報提供を行いながら、生産量、所得の向上を支援していきます。

県の奨励品種‘よさ恋美人’‘土佐麗’の現地検討会を開催



生育を観察する参加者

7月2日、JA高知市稲作部会の現地検討会が行われ、16名が参加しました。‘よさ恋美人’や‘土佐麗’の実証ほの状況を確認し、普及所からは試験の途中経過を説明しました。参加者からは「どの肥料が適しているか」「刈取時期はいつ頃か」等の質問があり、他の生産者と積極的に技術交換を行う場面も見られました。実証ほの試験結果は、11月からの地区別栽培講習会で報告する予定です。

普及所では、今後も両品種の安定生産技術の確立と普及推進に取り組んでいきます。

朝倉小学校で出前授業 ～高知の野菜11人兄弟を知ろう！～



野菜体操を踊る生徒たち

7月4日、朝倉小学校の二年生を対象に出前授業を行いました。授業では、ナス、ピーマン、ミニトマトの栽培方法や生育の様子を紹介し、作物に関するクイズを交えながら解説し、最後に全員で野菜体操を踊るなど高知の11品目の野菜を知ってもらいました。生徒からは、「なぜ植物はたくさん種ができるのか?」「なぜピーマンは放っておくと赤くなるのか?」など、活発に質問が出ました。

今後も出前授業を通じて、小学生へ高知の野菜に親しんで貰う場を提供していきます。

はちきん農業大学高知地区講座を開催しています



女性のための農業講座はちきん農業大学を開催しています。

6月28日には「土づくりと施肥」講座、7月9日には「病虫害防除」講座を開催し、女性農業者を中心に20名（一部男性新規就農者含む）が受講しました。講師は普及指導員が務め、専門性を交えながらわかりやすく講義を行いました。受講生からは、「肥料の土の中での変化を知ることができた」、「いろんな病虫害防除法があることがわかった」などの声が聞かれました。

今後も、経営管理講座、労務管理講座、新技術（環境制御）講座を企画しており、引き続き女性農業者の資質向上を支援していきます。